

1. 科目名 (単位数)	教職実践演習 (小学校) (2単位)	3. 科目番号	SJTC4576
2. 授業担当教員	安次嶺 隆幸		
4. 授業形態	講義、演習、実習等を適宜利用する	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	教職に関する単位を取得してから履修することが望ましい。 該当する教員免許状の希望者を受講対象者として、履修カルテを使用した授業を実施することから、履修できる学生は、小学校教諭の資格課程登録者のみとする。		
7. 講義概要	教職実践演習 (小学校) は、本学の教員養成に必要な「理論と実践」の融合を目指す科目として設定されている。これまでの学習を通じて身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて、最終的に確認する科目である。 この科目の履修を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートできるようにすることを期待して実施される科目である。		
8. 学習目標	教員として求められる資質・能力の形成に関して、以下の目標を設定し、達成することができる。 ① 職務遂行に必要な使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項を再確認する。 ② 社会性や対人関係能力に関する事項の発揮に関しての再確認をする。 ③ 実習等で得られた幼児・児童・生徒理解の仕方や学級経営の在り方等に関する事項の再確認をする。 ④ 教科・領域等教育課程の実施に当たっての指導力・実践力に関する事項の再確認をする。		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	★ノート指定 ツバメノートA4品番A5008 JAN:4968796311105 一冊を準備しておくこと。毎回これを出席、課題レポートに使用します。毎回プリント課題を配布しますので、このノートに貼り、授業後に提出します。		
10. 教科書・参考書・教材	教科書：「すべては挨拶から始まる！「礼儀」でまとめる学級づくり」(東洋館出版) 安次嶺隆幸著 参考書：「世界一の授業をつくる 100 の格言」(明治図書出版) 安次嶺隆幸著		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 学習目標の実現度において評価する。 ○評定の方法 日々の授業態度、参加度 30% レポート課題 40% 日常の学習状況 30%		
12. 受講生へのメッセージ	★プロの教師を目指そう！ この授業を受けることによって、受講者は、次の3点ができるようになります。 ・現代の学校現場の問題点を理解し、教職として生きる自分の夢を実現する基本姿勢を養うことができる。 ・教師として、児童理解、指導、学級づくり&授業づくりの理論と方法を理解し、実践することができる。 ・現場に教職として就いた時、問題解決ができる様々な方法を学びとることができる。 また、この授業では、教職を目指す人材を育成します。第1単元：授業づくり理論と方法、第2単元：学級づくり理論と方法、第3単元：児童・生徒指導の理論と方法、第4単元：教職の実務、第5単元：教職への道という5つの単元で構成されています。各単元は、模擬授業形式で行い、基本レクチャー→グループディスカッション→発表→課題提示→次回への展望、というサイクルになっています。講義のまとめとして、自分格言を発表します。 ★授業の約束 1 座席は指定とする。 2 正当な理由のない遅刻、早退、欠席をしないこと。(やむを得ず欠席する場合は、書面を提出のこと) 3 携帯電話の電源は切るとともに操作しないこと、及び私語は厳禁のこと。 4 レポート、アサシメントについては、指定した日までに必ず提出すること。(遅れた場合は減点です) 5 予習をするとともに、教育に関連する図書や新聞記事に関心をもち読むこと。 6 教員を目指す大学生としての自覚と覚悟をもち、その品位を保つこと。 ★メッセージ 授業は、導入がとても大切です。子ども達の眼をしっかりとこちらに引きつけるプロの教師を目指しましょう！私が教職3年間で培った技術、想いを授業でお伝えします。皆さんが教壇に立たれる為に、今何をすべきか、どう生きるか、子どもをどう観るか、伝授します。教職はとても素晴らしい場所です。プロの教師になりましょう！		
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	教員・受講者の自己紹介、授業の進め方、シラバスの説明 第1単元：授業づくり理論と方法 ◆授業でわかるプロの指導技術！ ・ハイダーの人間関係理論と学級～教室の入った瞬間に授業の空気をつくる～	事前学習	教科書「1年生のクラスをまとめる51のコツ」を読んでくる。
		事後学習	ノートに自分格言を書いてみる。
第2回	第1単元：授業づくり理論と方法 ◆授業でわかるプロの指導技術！ ・子どもの視線・空気づくり理論～授業導入の工夫で子どもを集中させる	事前学習	教科書「1年生のクラスをまとめる51のコツ」を読んでくる。
		事後学習	ノートに自分格言を書いてみる。
第3回	第1単元：授業づくり理論と方法 ◆授業でわかるプロの指導技術！ ・導入&まとめ理論～クラス全員でつくりあげる授業の工夫	事前学習	教科書「1年生のクラスをまとめる51のコツ」を読んでくる。
		事後学習	ノートに自分格言を書いてみる。

第4回	第2単元：学級づくり理論と方法 ◆子どもの姿でわかるプロの指導！ ・教室環境理論と実際～子どもが足音をたてていない	事前学習	教科書「1年生のクラスをまとめる51のコツ」を読んでくる。
		事後学習	ノートに自分格言を書いてみる。
第5回	第2単元：学級づくり理論と方法 ◆子どもの姿でわかるプロの指導！ ・学級環境の底辺～テストの間違えを消していない	事前学習	教科書「1年生のクラスをまとめる51のコツ」を読んでくる。
		事後学習	ノートに自分格言を書いてみる。
第6回	第2単元：学級づくり理論と方法 ◆子どもの姿でわかるプロの指導！ ・余韻授業理論で学級が動く～子どもが授業のまとめをしている	事前学習	教科書「一瞬で授業に引き込むプロの技」序章～第1章を読んでくる。
		事後学習	ノートに自分格言を書いてみる。
第7回	第3単元：児童・生徒指導の理論と方法◆保護者対応でわかるプロの対処術！ ・保護者会理論と実際～「おまかせください」で心をつかむ	事前学習	教科書「一瞬で授業に引き込むプロの技」第2章～第3章を読んでくる。
		事後学習	ノートに自分格言を書いてみる。
第8回	第3単元：児童・生徒指導の理論と方法◆保護者対応でわかるプロの対処術！ ・参観日理論と実際～家庭へのメッセージを子どもにわたす	事前学習	教科書「一瞬で授業に引き込むプロの技」第4章～最後まで読んでくる。
		事後学習	ノートに自分格言を書いてみる。
第9回	第3単元：児童・生徒指導の理論と方法◆保護者対応でわかるプロの対処術！ ・児童・生徒指導の実際と方法～教育観をうまく伝え協力体制つくる	事前学習	教科書「礼儀でまとめる学級づくり」序章～第1章を読んでくる。
		事後学習	ノートに自分格言を書いてみる。
第10回	第4単元：教職の実務◆時間のつかい方でわかるプロの仕事術！ ・教職の実際と工夫～採点は細切れ時間に問題別です	事前学習	教科書「礼儀でまとめる学級づくり」第2章～第3章を読んでくる。
		事後学習	ノートに自分格言を書いてみる。
第11回	第4単元：教職の実務◆時間のつかい方でわかるプロの仕事術！ ・教師の時間管理法～仕事の始めと終わりを決める	事前学習	教科書「礼儀でまとめる学級づくり」第4章～第5章を読んでくる。
		事後学習	ノートに自分格言を書いてみる。
第12回	第4単元：教職の実務◆時間のつかい方でわかるプロの仕事術！ ・教職の学び～わからないことに時間をかけない	事前学習	自分の格言を書いて、プレゼン出来るようにしておく1。
		事後学習	ノートに自分格言を書いてみる。
第13回	第5単元：教職への道◆教師力を常にアップするプロの上達法！ ・プロ教師への道①～朝一番で教室のぞうきがけをする	事前学習	自分の格言を書いて、プレゼン出来るようにしておく2。
		事後学習	ノートに自分格言を書いてみる。
第14回	第5単元：教職への道◆教師力を常にアップするプロの上達法！ ・プロ教師への道②～「世界一のクラス」を目標にする	事前学習	自分の格言を書いて、プレゼン出来るようにしておく3。
		事後学習	ノートに自分格言を書いてみる。
第15回	第5単元：教職への道◆教師力を常にアップするプロの上達法！ ・プロ教師への道③～新しいことに興味を示し実践する	事前学習	自分が教職についた時に、どんな教師になりたいかを書いて、プレゼン出来るようにしておく。
		事後学習	15回のまとめ。教師の道について自分の夢を描く。

※教職を取得しない学生については、本授業を受講しても単位として認めない